

TRICOLOR

創立 30 周年記念 フットサル大会開催しました！

好天に恵まれた 3 月 14 日(日)、しんよこフットボールパークにてクラブ創立 30 周年記念フットサル大会を行いました。

クラブ員:163 名、OB:34 名、保護者ほか関係者:32 名、合計:229 名の方の参加。応援の方を含めると約 400 名もの方に来場いただきました。

また、たくさんの方々から協賛の金品や励ましのお言葉を頂戴しました。

参加した皆さんの笑顔を思うと、クラブが存在していること自体がとても大切なことであり、もっと素晴らしい環境を作っていく必要性を痛感しております。

これからもクラブ発展のため、スタッフ一同努力していく所存です。

皆様、本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしく願っています。

新年度 スタッフ&小学生学年幹事

昨年同様、幼児～小学生は複数の学年を複数のスタッフで見ることにより、個々の選手たちに目が行き届くように配慮しました。

カテゴリー	担 当
幼児・小 1・小 2	浜野/益子
小 3・小 4	佐藤/小野
小 3・小 4(平日)	内田
小 5・小 6	丸山/鈴木
小 5・小 6(平日)	二木
Junior Youth	河原/二木
Youth	田中/鬼塚/内田
Papas(Rec)	茅野(※)
Papas(Comp)	中山
Papas(O-40)	茅野

※Papas(Rec)については別途ご相談させていただきます。

【小学生学年幹事】

※敬称は略させていただきます

カテゴリー	幹 事
幼児・小 1	未定
小 2	宮崎/升田
小 3	中之菌/征矢
小 4	平澤/坂上
小 5	柳澤/水本
小 6	鎌田/村田

小学生平日活動時の 注意事項

次のことに注意しご参加いただけますようお願いいたします。

【小 3・小 4:大口台小】

★注意事項

- ①自転車で来校する場合、正門の前のスペース又はスロープ前の門内側の黄色い斜線の部分に並べて止めてください。鍵は必ずかけましょう。校庭には絶対に乗り入れないでください。
- ②16:10 到着を目標にお出で下さい。校庭を利用できるのは、16:20～です。それまでは、キッズクラブや地域の子供たちの遊び場として開放しています。
- ③荷物は体育館前の軒下部分に置いてください。
- ④ボールは必ずバッグに入れて持ってきてきましょう。
- ⑤ビン・カン・ペットボトル・お菓子の持ちこみは禁止です。飲み物は水筒に入れて持って来て下さい。
- ⑥理由がない場合、お金は持って来てはいけません。
- ⑦校舎や校門のフェンス、ウサギ小屋にボールをぶつけてはいけません。
- ⑧練習が終わったら、速やかに帰宅しましょう。
- ⑨保護者の方がクルマで迎えに来る場合、校内への乗り入れは一切できません



ん。また、学校周辺への駐車も禁止されていますので厳守ください。

★雨天の場合

原則として雨天中止です。メールで情報はお伝えしますが、確認ができない場合は、家を出る前に各自でクラブ事務局又は担当コーチに電話で確認して下さい。

なお、小雨や降りだしが遅い場合等、判断が難しい時は現地で最終決定します。

★クラブ事務局 TEL:045(370)3390

★平日担当コーチ

内田:090(3499)3098

【小5・小6:港北小】

★注意事項

①自転車で来校する場合、校内では自転車から降りて押してください。片足をかけて半分乗った状態も禁止です。プール前に並べて止め、鍵は必ずかけましょう。

②16:20 到着を目標にお出で下さい。校庭を利用できるのは、16:30～です。それまでは、はまっ子や地域の子供たちの遊び場として開放しています。

③荷物は朝礼台の上やその周辺に置いてください。

④ボールは必ずバッグに入れて持ってきましょう。

⑤ビン・カン・ペットボトル・お菓子の持ちこみは禁止です。飲み物は水筒に入れて持って来て下さい。

⑥理由がない場合、お金は持って来てはいけません。

⑦校舎や校門のフェンス、ウサギ小屋にボールをぶつけてはいけません。

⑧練習が終わったら、速やかに帰宅しましょう。

⑨保護者の方がクルマで迎えに来る場合、校内への乗り入れは一切できません。また、学校周辺への駐車も禁止されていますので厳守ください。

★雨天の場合

原則として雨天中止です。メールで情報はお伝えしますが、確認ができない場合は、家を出る前に各自でクラブ事務局又は担当コーチに電話で確認して

下さい。

なお、小雨や降りだしが遅い場合等、判断が難しい時は現地で最終決定します。

★クラブ事務局 TEL:045(370)3390

★平日担当コーチ

二木:090(8173)6346

大会・公式戦結果

Junior Youth

【県 CJY(U-15)リーグ】

vs ヘラクレス大磯 1-2●

vs 横浜いずみ SC 1-6●

vs SUERTE 1-1△

vs KAZU.SC 4-1○

Papas

★Comp

【シニアチャンピオンズカップ】

▼1回戦

vs 西湘 Wings FC 1-4●

今、グラウンドでは・・・

Top

【30周年記念フットサル大会開催】

3月14日のかながわクラブ30周年記念フットサル大会では、トップの選手たちも皆さんと楽しい1日を過ごせました。特にTopチームのOBたちも多く集まってくれて、現役選手顔負けの迫力のプレーで大会を盛り上げてくれました。そして記念品として配られたかながわクラブのタオルマフラーは小学生の保護者の方が考案してくれて、Topチームの応援するときそのタオルマフラーを掲げて応援したい、と言うことでできたものです。ぜひその声援にこたえられるようにTopの選手たちは活躍してもらいたいと思っています。

【県リーグ開幕戦決定】

今年もTopチームは田村監督の下1年間戦います。

最近の練習では攻撃のパターンを繰り返し練習していますが、重要なのはボールを持った選手以外の選手のポジ

ションです。ゴールに近くても前を向けないのなら、いったん戻していい形でボールを持てる選手に預けるほうが攻撃の幅ができます。頭を使ったポジショニングをしないと、攻撃にならないと言うことです。

そして今年の神奈川県社会人サッカーリーグ1部開幕戦が決定しました。

昨年は得点の取り合いで何とか僅差で勝利した相手ですが、今年のVERDRERO 港北は入替戦で残留を決め、レベルアップして臨んでくるはずですよ。

かながわクラブも戦力的に樋口、神先両選手の復帰もあり好試合が予想されます。

ぜひタオルマフラー持参で応援しに来てください。(中本 洋一)

第1節

期日	4月18日(日)
会場	平塚馬入ふれあい公園 人工芝 G
Kickoff	19:00
対戦相手	VERDRERO 港北

Youth

いよいよ日本クラブユースサッカー選手権大会の関東予選が始まります。限られた期間で6試合行い、1位チームのみが2次予選に進出できます。

人数に余裕があるチームではない上に後半は一日置きに4試合行わなければなりません。厳しい条件はどれも同じですので、まずはコンディション調整に最大限の努力を払いましょう。

(内田 佳彦)

■4/11(日) 10:00×相模原 FC(職業能力開発大学校)

■4/25(日) 11:05×フットワーククラブ(しんよこFP)

■4/29(木) 14:30×FC インフィニット相模原(日本工学院八王子G)

■5/1(土) 18:05×つくばFC(茨城県)(18:05

つば FC)

■5/3(月) 15:00×FC 川崎栗の木 (寒川川
とのふれあい公園)

■5/5(水) 14:00×水戸ホーリーホック (水戸
ツインフィールド)

Junior Youth

3/20 に 3 年生が出場できる全ての公
式戦が終了しました。

3 年生は、全員が高校への進学が決
まっています、すでに春休み中から高校
生として新たなスタートを切っている人
もいます。

それぞれ道は違いますが、志をもって
最後まであきらめずに自分の道を進ん
でいってください。

また、いつでも門は開けておくので、
何かあったとき、気が向いた時等、後輩
の様子を見がてらいつでもグラウンドに
来てほしいと思います。

新 2・3 年生は愛知遠征を終え、いよ
いよ目標の「日本クラブユース選手権県
大会」が迫ってきました。今は 3 年生の
存在がいかに大きかったかを感じてい
ると思います。もう頼れる先輩たちはい
ません。少しでも早く頼られる先輩にな
れるよう努力して、自分たちの手で何か
を掴み取って欲しいと思います。

(二木 昭)

小 6

今年度もこの学年を担当させていた
だくことになりました。今年、ジュニア
年代としては最後の1年となります。一
人ひとりの更なるレベルアップを追及す
ることはもちろんのこと、チームとして
かながわクラブのスタイルを継承した楽
しいサッカーを目指したいと思います。
引き続きよろしくお願い申し上げます。

【J-VILLAGE 合宿】

3/27 から3泊4日の日程で、J-
VILLAGE にて開催されたスプリング
サッカーフェスティバルに参加してきま
した。同フェスティバルは、宮城県の塩
竈 FC さんの主催による大会で、参加し
た選手たちは、朝から夕方までサッカー
漬けとなる濃密な4日間を過ごせたので

はないでしょうか。選手自身が失敗を恐
れず、積極的にチャレンジすることをサ
ポートしてくれた今大会は本当に素晴
らしく、各地から参加したさまざまチ
ームとの交流を通じ、私もいろいろと学
ばせてもらいました。現地での様子につ
いては、写真の提供とともに後日ご報
告させていただきます。いただければと
思います。

【横浜市春季大会】

4月の第2週より、春季大会がスタート
いたします。今大会の詳細につきましては、
現時点ではまだ確認できておりませ
んが、同大会のLの部が11人制の
リーグ戦形式で実施されることはすで
に確定しております。先発メンバーや
試合へのエントリーについては、サッカ
ーに対する日頃の取り組み方を十分考
慮したうえで決めるつもりです。一人
ひとりが各試合においてベストを尽
くし、頭も身体も休めることなく、全
力でプレーしていただけることを期
待しています。

試合会場やキックオフの時間によ
っては、お弁当の準備等、特にお母
様方には早朝からサポートいただくこ
ともあるとは思いますが、どうぞよろ
しくお願いいたします。(鈴木 章弘)

小 5

【1年間を振り返って】

新5年生の選手・保護者の方々、1年
間おつき合い頂きありがとうございました。

選手の皆さんにとって一番思い出に
残っていることは、何ですか?? 人によ
って思い出や印象に残っているシー
ンは違うと思いますが、私が1番思
い出に残っているシーンを国際チビ
子のAチーム最終日(最終戦での2
連勝)・Bチームの最終日(雨の日の
激闘)です。この大会終了から選手
たちのサッカーに対する姿勢が全
体的に向上し、成長が一番見られ
たのがこの時だと思えます。

1年間を通して1年前よりサッカー
が更に好きになってくれていれば、
私の目標の1つは達成です。1年間
本当に

ありがとうございました。

【今年度もよろしくお願ひいたしま す】

引き続き、今年度の5年生を担当
させていただきます丸山です。本年
度もどうぞよろしくお願ひいたしま
す。

前年度至らなかつた点がい
くつかあったと思いますが、前
年度の反省を活かし選手たち
にとって「1年間サッカーを
頑張ってきた良かった」と思
っていただけるような指導を
目指し頑張っていきたいと思
います。(丸山 祐人)

小 4

【あつ、という間に..】

6年生の卒業式も終わり桜の
咲く季節になりました。私事で
恐縮ですが「我が家の小学生
サッカー」も終了。。ですが、
「かながわクラブの活動 = 小
学生サッカー」はまだまだ続
きます、これからも楽しくお
付き合いの程お願ひいたしま
す(笑)

さてさて。あつと言う間の1
年でしたが、小3カテゴリーは
大幅に人数も増えとても活
気ある活動が出来たことを何
よりうれしく思っております。
事情により退会してしまった
子もいますが、かながわク
ラブに関わった、関わって
いる「仲間」としてこれか
ら長く付き合ったいと思
います。

【新年度】

4月から U-10 カテゴリーは
佐藤(小3)/小野(小4)/内田
(平日)の体制で担当して
いきます。平日の活動では、
新小4は新小3のみんなを
リードして元気に取組んで
欲しいと思います。

新小4としては、早速春季
大会が始まります。先日保
護者の皆様へは今後の取
組み方など説明をさせて
いただきましたが、引続
き子どもたちが楽しく
元気に活動できるように
是非々々サポートをお願
ひいたします。子ども
たちには「もっとサッカ
ーをしよう!」と言
い続けます。ボールに
たくさん触れること(=量)と

併せて、考えること(=質)もこれまで以上に伝えながら取り組んでいきます。

(小野 津春)

小 3

【自分とボールと相手の世界】

1年生が自分とボールの世界だとすると、2年生は自分とボールと相手の世界にいます。やはり徹底的にドリブルに拘ることから始め、ボールをインステップにきちんと当てる感覚を養ってきました。同時に蹴る際にポイントとなるのは力ではなくタイミングであることもフェンス越えのキックの練習で体感できたことでしょう。

そこに相手が登場し、ボールを取ったり、取られたりという攻防が生まれます。相手にボールを取られないようにするにはどうするのかをウォーミングアップを兼ねて練習しています。簡単に言うとボールと相手の間に自分の身体を入れることです。自分の身体でボールを隠すという言い方もあります。これはボールを奪われないようにする際だけでなく、またボールを奪う際にも応用できます。「身体を入れる」「身体をいれながらボールを細かく動かす」「身体でボールを守りながらドリブルをする」という3つのパターンでもうしばらくは続けていきます。

【味方がボールを持ったら離れる】

自分とボールだけの世界でプレーをしていると自然に全員がボールに集まることになります。いわゆるお団子サッカーです。お団子サッカーについては以前にも成長の一過程であって必要不可欠なものであることはお話ししました。それでもまだまだお団子サッカーの状況からは抜けられそうにありません。そこで、ボールを味方が持ったら少し離れましょうという約束事を作りました。その方がボールは動かし、チャンスも多くなるからと大人は考えるのです。ところが、子どもたちのなかでは、離れて待ってい

る子になかなかボールが転がっていきません。すると、せっかくながら離れて待っていた子も、またボールに集中するようになってしまいます。大人が加わり、ボールを少し動かすことも打開策の一つになります。離れて待っている子に出来るだけ多くパスを出してあげるのです。

離れて待っているといいことがある(ボールが来る)という成功体験を積むことが、こうした行動を強化することにつながります。この課題ももう少し継続していきたくて考えています。

【4人対4人、5人対5人】

なんとと言ってもミニゲームは欠かせません。一人のボールに触れる回数の多さや実際の試合と同じ場面の再現回数の多さを考えると練習はミニゲームだけで良いのではとも考えます。1人対1人から始めて2人対2人、3人対3人、そして4人対4人へと徐々に人数を増やしプレーの選択肢を増やしていくのです。フルコートのゲームで、人数が多ければサボっても目立ちませんが、人数が少なければ全員でボールを追いかける必要があります。何より自分がやらなければならないという意識が芽生えることが大切です。自らが積極的に取り組むことで技術は目覚ましい発達を遂げます。

審判も自分たちでやらせます。フェアプレーの精神はこうしたところからも育まれるはずですよ。

【やはり最後は決定力！】

ドリブルにしてもシュートにしても相手を取りに来なければ、それなりに上手にできるようになっています。しかし、試合ではそんなことはあり得ません。誰もボールを取りに来ないドリブルから、頭の中に相手を意識してのドリブル、更には実際に目の前の相手をかかわしていくドリブルへと、また、止まっているボールを蹴ることから動いているボールを蹴ることや、実際に自分でボールをドリブルしながら蹴ることへと、徐々に難易度を上げていきたいと思っています。

【ミスを恐れるな！】

全員が積極的にシュートを打てるように、チャレンジする気持ちを大切にしたいと思います。日本人は兎角「俺が！俺が！」というのを嫌う習性があります。そして、「ミスしたらどうしよう…」という気持ちも強く働きます。

しかし、上手に出来ないから練習しているのです。練習でミスすることは当たり前なのです。練習する前から出来ないと言いきり、積極的に取り組む姿勢を持ちましょう。特に3年生になると平日の練習は4年生と一緒にやります。学年が上の人と練習することはサッカーの技術の上達に非常に役立ちます。最初、4年生に敵わないのは当たり前です。「そのうちに4年生に追いついてやる！」という気持ちで平日の練習に臨んでほしいものです。(佐藤 敏明)

小 2

【新小2】

こんにちは、今年度よりメイン担当をさせて頂きます。益子です。よろしく願いいたします。

わたくしは銀嶺幼稚園でサッカーと出会い、小学生から、かながわクラブに入り、内田コーチ、佐藤コーチ、浜野コーチにサッカー等いろいろなことを教わり、クラブには人生にとってかけがえない物を与えて頂きました。

子供たちにはサッカーを通して、クラブのいろいろな活動を通して、「サッカーの楽しさ」、「感謝の気持ち」、「仲間の大切さ」、「折れない心」等々、いろいろなことを経験して、学んでほしいと思います。私自身、かながわクラブに在籍して、よかったなと思うことがこの年で多々あります。今でも大きな財産となっています。

今年は秋から初めての公式戦があります。相手チームとの方針の差に、特に保護者の皆様は驚きがあるかもしれませんが、特に幼年期は「サッカーの楽しさ」、「自分で判断すること」、「あきらめない気持ち」を重要視して育成していきますので、「勝とうとしてない」と目に

映ると思いますが、生涯スポーツが出来るように、スポーツの素晴らしさを感じられる様に、自分で判断させることを重視し、暖かく、長い目で見て頂けたら幸いです。

今年も練習後、夕方迄、角のほうでミニゲーム(サッカー)をしている子供たちが増えるのを楽しみにしています。リフティングやボールタッチ等のボールコントロール技術に関しては、どれだけボールに触っているか、練習以外でどれだけサッカーをやっているかにかかってきます。そのために、「やらせる」ではなく、「サッカーって楽しい!!」と思ってもらえる様に子供たちと一緒に楽しみたいと思います。

自分は小学生のころ、放課後は学年に関係なくいろいろな人と一緒にサッカーをしていました。そして、年上の先輩から学ぶ(盗む)ことも多かったと記憶しています。もし、上の学年の子たちがサッカーをやっていたら、どんどん積極的に入って行って下さい。そして一緒にサッカーで遊んで下さい。ブラジルではボールがあればそこに人が集まり、あつという間に知らない人たちがサッカーが始めるそうです。ブラジルの様には行かない迄も、学年関係なくサッカーが出来る環境になれば最高だと思います!!

今年度もよろしく願いいたします。

追伸:懇親会でご協力お願いいたしました、審判資格取得について、是非ご協力下さい!!(益子 伸孝)

幼児・小 1

幼児・小学1年生を担当いたします浜野と申します。1年間お世話になりましたが、どうぞよろしく願いいたします。

かながわクラブの前身である銀嶺幼稚園・神大寺幼稚園サッカー教室でコーチを始め、益子コーチ、二木コーチがまだ小学1年生の頃から今までずっとかながわクラブでコーチをしてきました。この5年間は主にパパスでの活動とミストラル(女性チーム)や女性のためのフットサルを担当してきました。

この度、久々に小学生の担当となり、

孫(まだいませんが)に近い歳の子供たちと一緒にサッカーを楽しめることをとても嬉しく、光栄に思っています。サッカーを楽しむ子供たちにとってはとても重要な「ゴールデンエイジ」の入口である幼児・小学1年生の指導は、大変に責任の重いものですが、「子供たちは未来への宝物」ですから、Jリーグ・日本代表・海外でも通用する選手、親父になってもサッカーを続けられる「サッカー大好き人間」の育成をお手伝いさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

(浜野 正男)

Papas

【県シニアリーグ開幕】

Rec&Comp が加盟する県シニアリーグが4月4日から開幕します。Rec 第1節の相手は新加盟の川崎 OW で、キックオフは9時、会場は平塚大神です。Comp 第1節の相手は寒川 40 で、キックオフは12時45分、会場は酒匂川河川敷会場です。

しばらく間があきましたが、いよいよシーズン開幕です。どうぞ自身の日程を翌調整されて多数の試合に大勢のメンバーが参加されることを期待します。今年も怪我のない壮年サッカーを楽しみましょう。

【Papas は新メンバーを募集中】

Papas はいつでも新メンバーを募集中です。新年度の始まりは参加のチャンスです。

ぜひ Papas を体験してみてください。

シーズン開幕した Rec&Comp も年度途中からの参加者を歓迎します。参加費用は事務登録手数料となりますが、年度途中の加入の場合は、残試合数を考慮して9月までは7,500円、10月以降の加入は4,000円です。

Over-40(横浜市シニア委員会が主催する交歓試合及び市マスターズトーナメントに参加するチームです。)は、Rec&Comp に参加されている方が追加費用なしでチームを構成するのが原則としていますが、新年度から Rec&Comp

には参加せず、Over-40 のみに参加する方を募集しています。参加費用は事務登録手数料年間4,000円です。まだ新年度登録に間に合いますので、参加希望者は至急茅野までご連絡をお願いします。(茅野 英一)

ヨーガ

【旅立ち】

息子が大学を卒業しました。この春から社会人です。スーツに身を包む姿はすっかり大人ですが、ときおりその顔には幼いころと同じ表情がちらりとよぎります。そんなときは親として、あの頃を思い出してキュンとします。親の手無くしては生きることもできなかった小さな存在が、もう立派な大人になりました。もはや私が出る幕はなく見守るだけです。「胸を張って堂々と生きていきなさい。」育てる中で伝えるべきものは全て伝えたと感じる今、ひとつ大きなことをやり遂げた達成感でいっぱいです。

一年一年はあつという間に感じますが、ときおり大きな節目に出会うと、確かに、着実に、人生を歩んでいるのだと実感します。

今年も春を迎えました。そして毎年と同じように桜が美しく咲いています。今年度も、また一歩前に進むことができるはずです。

かながわクラブでのヨーガは6年目を迎えます。

ここまで続けてこられたのも、ご参加くださった皆様やクラブのスタッフの皆様のおかげです。ありがとうございます。

今年度も気持ちよくヨーガを楽しんでいただける時間と空間をご提供したいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

(伊藤 玲子)

たわごと 理事長の戯言

【J ヴィレッジ】

小5の応援を兼ね、数年ぶりに J ヴィレッジを尋ねました。

塩釜 FC の小幡理事長はじめ、たくさん
のサッカー仲間と多くの情報交換が
できました。

3 月とはいえ、ちょうど寒波がやってき
たようで、空気がとても冷たいです。雪
が激しく降ったかと思うと、直後に太陽
が出てきます。そしてまた雲が出てきて
雪が降ります。

しかし、芝生はとても美しく、ホテルは
きれいで清潔、食事もおいしい。言うこ
となしです。

2002 年にお世話になった高田副社
長にもご挨拶できました。

充実した 3 日間でした。

(内田 佳彦)